

市民参画推進に関する市民会議（3年度 第2回）会議概要

（日程・場所・出席者）

- （日 程） 令和4年3月16日（水）13:30～14:30（新型コロナウイルス感染症対策として時間を短縮して開催）
（場 所） 鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室
（出席者） 委員13名
（事務局） 市民協働課

（会議の次第・配付資料）

【会次第】

- (1) 開会
- (2) 会長及び副会長選出
- (3) 鹿児島市市民参画推進に関する市民会議について
- (4) 協議
 - ① 3年度の市民参画手続の実施状況（中間報告）
 - ② 4年度の市民参画手続の実施予定
 - ③ 前回の市民会議で出された主な意見に対する対応
- (5) その他
 - ① 今後のスケジュール
- (6) 閉会

【配付資料】

- | | |
|-------|------------------------|
| 資料1 | 市民参画推進に関する市民会議委員名簿 |
| 資料2 | 鹿児島市市民参画推進に関する市民会議概要 |
| 資料3-1 | 3年度市民参画手続実施状況一覧表 |
| 資料3-2 | 3年度パブリックコメント実施状況一覧表 |
| 資料3-3 | 3年度市民参画手続実施状況詳細 |
| 資料4 | 4年度市民参画手続実施予定一覧表 |
| 資料5 | 前回の市民会議で出された主な意見に対する対応 |
| 資料6 | スケジュール |

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 参考資料1 | パブリックコメント周知ポスター |
| 参考資料2 | 市民のひろば1月号掲載記事 |
| 参考資料3 | パブリックコメント意見募集用紙の一例（鹿児島市文化芸術推進基本計画） |

委員の意見・質疑等

【3年度の市民参画手続の実施状況(中間報告)】

(委員)

第六次鹿児島市総合計画のワークショップに参加したが、ワークショップに関しても誰が企画運営しているかというところを教えていただきたい。前回の意見に対する対応としてアンケートについては、ほとんどが外部委託をしているという内容であったが、ワークショップに関しても外部委託しているのか。

少なくとも参加した総合計画のワークショップでは外部委託をしていたと思う。市の職員が企画運営しているのか、外部委託しているのか現状を教えていただきたい。鹿児島や九州で委託を受けるとしたら特定のいくつかの団体に偏ってしまっているのではないか。鹿児島市がこれから先自分たちで企画運営できるような、もっと言えば市民自身が企画運営できるよう進んでいって欲しい。

1

(事務局)

計画の策定は、それぞれの課が実施しており、ワークショップのやり方は各課に任されている。総合計画の意見交換会の中で地域別意見交換会は、職員の方で企画運営し実施したと認識している。ワークショップは昨年度実施したものと思うが、どのような方法、委託したかどうかは把握していないところである。

(委員)

意見交換会であれば市の方でもできると想定できるが、ワークショップはノウハウがいるものなので、だからこそ偏りがちである。企画運営に外部の方主導でやっているという方が想像しやすい。方法というよりも企画運営の主体というところを後ほど回答をいただきたい。

委員の意見・質疑等

【4年度の市民参画手続の実施予定】

1 (会長)
令和3年度と比べて7件と数が少ない点について、補足をいただきたい。

(事務局)
鹿児島市総合計画は10年間の計画となっており、総合計画の下に環境や教育などの個別分野の計画がある。個別分野の計画は総合計画との整合を図る必要があるため、総合計画の計画期間と合わせて令和3年度に計画の見直しを行った計画が非常に多かったため令和3年度は件数が多くなっている。

【前回の市民会議で出された主な意見に対する対応】

(委員)
他の委員会でアンケートの結果をみたが、アンケートの取り方が悪いと感じた。データに意味がなかったりまとめている業者が単純集計しかしていない。データの再分析を業者にできないか尋ねたところ予算が追加で組めないということであった。仕様書もそうだが、データをとる前に学識経験者や社会調査の分野に関わっている方だったり大学連携を活用していただきたい。また、仕様書にもデータをとる前に相談連携を含めて質問の再構成やアンケートの再分析をするという余地を含めてもらいたい。

1 (事務局)
仕様書の項目や大学との連携方法を含めてできればご指導いただきたい。

(委員)
各大学に地域連携センターの部署があるため、そこを通じて社会調査の専門の分野の方に依頼をしてもらいたい。

(会長)
ぜひ地域の大学にご相談いただきたい。私も相談に対応可能なので、お声がけいただきたい。上質なアンケートを実施するという方向を加速させる方法で事務局は対応していただきたい。

委員の意見・質疑等

(委員)

資料3-2の中で、反映させた意見が335件と前年より多かったことは大いに市政に活かされたと思う。
パブリックコメントに参加する方は、中年以上の方が多いと思う。若い世代の意見も市政に参加することは大事だと考え、まずは若い市役所職員の積極的な参加を求める。
また、大学や短大などの教育部門や社会人で市政を考えるサークルに事前にパブリックコメントを配付することについて事務局の方針を伺いたい。

(事務局)

- 2 若い方に意見を出していただいている点については、私どももそのように考えているところである。例えば、SNSを通じた情報発信や、周知ポスターも若い人に興味関心を持ってもらいたいという視点から作成した。各大学にパブリックコメントを配置し、学生の方にも見ていただけるようにしている。
一方で市民参画は広く市民の方から意見を聴くという原則があり、特定の人に意見を出してもらうことは難しい。パブリックコメントをしていることの周知は関係する団体に積極的に行っているところである。市の職員についてもパブリックコメントの周知はできるが意見を出してくださいとお願いすることは難しい。
少しでも若い方にも出してもらうよう資料を大学に配置するだけでなく、もう少し学生に届く情報の伝え方を検討させていただきたい。

(会長)

市民参画の前提条件として、市民にとって平等な機会と情報の共有があるが、そのバランス、どのあたりまで守備範囲を広げられるかという様々なアプローチを議論していくことは排除すべきではないと思う。
また、どういった方が意見提出をしているかということがモニターできると、どういう情報を発信すると効果があるということを読み解けるようになると思う。情報が見えるような形にしておく議論も建設的なものになると思うので、情報の適切な把握に努めてもらいたい。

委員の意見・質疑等

	<p>(委員) 前回の意見に対する対応をたくさん出してくださり、パブリックコメントを出しやすくなったと思う。パブリックコメントの周知もだが、それを伝える市公式SNS(公式LINEなど)の周知も今後広げていけたらすごく成果が出ると思う。SNSで情報発信をした成果について何か集計ができていますか。</p> <p>(会長) 3 従来の媒体にSNSが加わりどういうチャンネルから入ってきているか把握できていれば、非常に今後の施策にも有用かと思う。現状把握していることがあれば教えていただきたい。</p> <p>(事務局) どの媒体からパブリックコメントを知ったかということ現在は把握していないところである。意見記入用紙に年代欄(任意)とパブリックコメントを何で知りましたかという質問を今後追加し、結果を受け周知広報の方法を検討してまいりたい。</p>
【その他】	
1	<p>(委員) 自分の利害関係のある人は意見提出をするが、それ以外の無関心層にどのように伝えていくかを考えていけない。そのことが市政にとってプラスになると思う。</p>